

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

24年 6月 13日

愛知県知事 殿

提出者

住 所 愛知県稲沢市小沢二丁目9番18号

山一建設株式会社

氏 名 代表取締役 山 田 哲 也

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0587-32-6125

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	山一建設株式会社 アスファルトプラント工場
事業場の所在地	愛知県稲沢市西島新町72-2
計画期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 総合建設業
② 事業の規模	平成23年度完工高 6億5000万円
③ 従業員数	30名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	アスファルトコンクリート塊、コンクリート塊を受け入れ、中間処理サイクルにより所定の品質規格を満たす再生アスファルト加熱混合物および再生路盤材を製造し、自社工事で施工に使うとともに他の業者に販売する。

(日本工業規格 A列4番)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

本社（産業廃棄物統括責任者 山田哲也）

↓ 指示・管理

アスファルトプラント工場長（産業廃棄物処理責任者 ■■■■■）

↓ 作業指示

アスファルトプラント工場作業員 5名

廃棄物の小割をお願いし、廃棄物受け入れ時に目視で確認するとともに分別に努めて管理しています。

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 23 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリート塊	コンクリート塊
	排 出 量	16,000 t	4,100 t
	（これまでに実施した取組） 廃棄物の発生を抑えるように発注者と協議を行って施工を進めている。 ストックを減らすように当社の再生材料をできるだけ利用してもらうように顧客をお願いしている。 廃材は、極力小割をお願いしている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリート塊	コンクリート塊
	排 出 量	15,000 t	3,000 t
	（今後実施する予定の取組） 当社の再生材料利用を今まで以上にPRする。 所定の品質を確保できる再生材の配合率を検討し、ストックを減らすようにする。 当社の再生材を常時出荷できる体制をとっておく。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 小割をお願いし、廃棄物受け入れ時に目視確認をしている。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃棄物の小割を今まで以上にお願いし、徹底する。

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	<b>【前年度（ 23 年度）実績】</b>		
	産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリート塊	コンクリート塊
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	9,500 t	3,600 t
	<p>（これまでに実施した取組）          当社の再生材料のPRに努めている。          工事受注高は増加したが、これに伴って再生利用量より再生材受入量も増加した。          このためストックがなかなか減らない。</p>		
②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリート塊	コンクリート塊
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	9,000 t	3,000 t
	<p>（今後実施する予定の取組）          所定の品質を確保できる再生材料の配合率を検討し、再生材の利用を増やす。</p>		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	<b>【前年度（ 23 年度）実績】</b>		
	産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリート塊	コンクリート塊
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	9,500 t	3,600 t
<p>（これまでに実施した取組）          中間処理により再生利用するので、再生利用の項目を実施した。</p>			
②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	アスファルトコンクリート塊	コンクリート塊
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	9,000 t	3,000 t
<p>（今後実施する予定の取組）          中間処理により再生利用をするので、再生利用の項目を実施する。</p>			

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし。		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 23                      年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	アスファルト コンクリート塊	コンクリート塊	汚泥
	全処理委託量	235t	135t	110t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	235t	135t	110t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t
	(これまでに実施した取組) 工事の都合で材料を購入し、その足で廃棄物の処分をお願いした。 また汚泥は、専門処理業者をお願いをした。			

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t
	再生利用業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組) 基本的に委託をする計画はありません。	
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。